

「荒海団結団式」開く 荒海ホタテが初出荷

第2ステージ



岩手県野田村の野田港で、地元漁師らによる「岩手野田村荒海団」の結団式、出荷式が行われました。

2014年7月7日

水産業

「岩手野田村荒海団結団式」（主催＝荒海団プロジェクト）が7月7日、岩手県野田村の野田港で開催された。同村の水産業は東日本大震災で壊滅的な被害を受けたが、生産設備が徐々に復旧。本格的なホタテの出荷を前に、野田村漁業協同組合、野田漁友会、株式会社のだむら、野田村役場が中心となって「荒海団プロジェクト」が始動した。波が荒い同村の海で厳しい環境に屈することなく漁業に従事することから命名された、地元漁師らによる「岩手野田村荒海団」の結成とともに、「岩手野田村荒海ホタテ」ブランドが立ち上がり、同村産水産物のおいしさや価値を広める活動を展開される。

式典後には、同村産食材をたくさんの笑顔を生み出す食の「財産」として捉える機会として「野田村・笑顔の食財」を開催。荒海ホタテをはじめ、わかめや豆腐など同村産食材を使った料理が振る舞われ、来賓や参列した児童・生徒らは出来たての焼きホタテやホタテ汁、豆腐料理などさまざまな同村の味覚を堪能した。

